

山陽新聞社・テレビせとうち新本社完成記念

未完の夢 無言館展

「戦没画学生が遺した愛と絵」

「兄さんかならず帰ってきてくれよ。ふたりでりっぱな絵描きになるんだから。」
兄弟ふたりとも還ってこなかった。



「少女」合作 山之井 龍朗(兄) 昭和20年5月9日フィリピン・ルソン島バギオにて戦死。享年24歳。
俊朗(弟) 昭和19年4月26日南方へむかう輸送船爆沈のため戦死。享年21歳。

平成18年

6月2日(金) - 7月2日(日)

開館時間 午前10時～午後8時(入館は午後7時半まで)

休館日 毎週月曜日

会場 岡山市デジタルミュージアム 4階企画展示室

入場料 前売り(一般のみ)/600円
当日一般/800円 65歳以上/700円 大学生/500円
高校生/300円 中学生以下/無料

※20名以上の団体は100円引きとなります。

※障害者手帳をお持ちの方とその付き添いの方1名は無料です。

■前売り券は主要プレイガイド、ローソンチケット(Lコード69881)

山陽新聞販売所、山陽新聞社事業局などで発売しています。

主催 岡山市デジタルミュージアム、戦没画学生慰霊美術館「無言館」
学校法人 倉敷芸術科学大学、TSCテレビせとうち、山陽新聞社

後援 岡山県、岡山県教育委員会、岡山市教育委員会
岡山市連合町内会、岡山市連合婦人会、岡山市老人クラブ連合会
岡山県小学校長会、岡山県中学校長会、岡山県高等学校長協会
岡山県PTA連合会、岡山県高等学校PTA連合会
NHK岡山放送局、oniビジョン、岡山エフエム放送株式会社
岡山シティエフエム、倉敷ケーブルテレビ、FMくらしき
西日本旅客鉄道株式会社岡山支社 (順不同)

協賛 オカケン 窓市石材

未完の夢 無言館展

— 戦没画学生が遺した愛と絵 —



「屏風絵 茄子」小野 春男



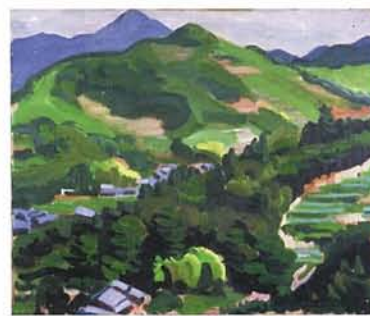
「曇り日」庄司 正



「自画像」結城 久



「婦人像」河口 正喜



「宇和島の風景」尾田 龍馬

戦場にあっても一人の画家として人間の姿を描いてゆきたい。

あと五分、あと十分この絵を描かせてくれ……小生は生きて帰らねばなりません。絵を描くために……。

達者か……早く帰ってこい……おまえには芸術があるぞ……。

戦没画学生慰霊美術館「無言館」(長野県上田市)は平成9年に開館し、戦争で亡くなった画学生たちの油絵や水彩画などの作品と、生前の彼らの青春の息吹を伝える遺品の数々を保存・展示しています。

本展は、同館の収蔵品の中から、笠岡市出身の日本画家小野竹喬の長男、小野春男の「屏風絵 茄子」など、志半ばで戦死した若者たちが青春のあかしに遺した作品や遺品約130点を紹介します。

また、昭和20年6月29日の岡山大空襲を物語る展示コーナー(無料スペース)も設けます。



無言館 外観

■特別展開催記念講演会

演題:「無言館」のこと — 生と死の画家たち —

講師:窪島 誠一郎(無言館・信濃デッサン館館主)

日時:6月2日(金) 午後2時~3時半(予定)

会場:岡山市デジタルミュージアム4階講義室

※事前申し込み・無料。講演後ロビーにてサイン会あり。

● 同時開催 ●

「岡山の戦災の記録と写真展」

昭和20年6月29日未明の岡山大空襲を中心とする岡山の戦災や戦時中の生活を伝える資料、写真などを展示します。



※JR岡山駅西口より徒歩1分。リットシティビル南棟。

[お問い合わせ]

〒700-0024 岡山市駅元町15-1

TEL 086-898-3000 FAX 086-898-3003

URL <http://www.okayama-digital-museum.jp/>



岡山市デジタルミュージアム

ひとりひとりの若人が持つ能力を最大限に引き出す

岡山理科大学
千葉科学大学
岡山理科大学附属中学校
玉野総合医療専門学校

倉敷芸術科学大学
岡山理科大学附属高等学校
岡山理科大学専門学校
倉敷芸術科学大学専門学校

学校法人加計学園

〒700-0005 岡山市理大町1-1 <http://www.ous.ac.jp>